

大阪フロイデニュース

Freude

vol. 7 - 1 2015. 6.10. wed

新しい
シーズンの始まりだあ!

大阪フロイデ合唱団 Tel 06-6358-2626
〒530-0041 大阪市北区天神橋2-1-18-4B
ホームページ <http://www.osakafreude.com>
メールアドレス info@osakafreude.com



さあ!新しい「大阪フロイデ」スタイル第二弾!



5/29いずみホール!お疲れさまでした!

お客様アンケートでもおほめの言葉をたくさんいただき、

打上パーティでも、亀井先生はじめ出演の先生方にも講評いただきましたが、今回、

「いずみホール&大阪チェンバーオーケストラ&(今の人数規模の)大阪フロイデ合唱団」のバランスがめっちゃ良くて、まとまりのある豊かな響きをお客様に楽しんでいただけたみたい。フェスやシンフォニーも憧れではありますが、今回のこの、調和の取れた温かな演奏会は「大阪フロイデの新しいページを開いたね」と先生方にコメントいただきました。

というわけで、さあ、2016年2月10日「大阪フロイデ」いずみホールシリーズ第二弾!モーツァルト「275 ミサ&レクイエム」です。折しもモーツァルト生誕260年!

「レクイエム」は、これまでも、何度も取り上げてきたので、ひょっとしたらみなさんの中には「またモツレクかあ」と思っている人もいるかも!?

でも、ここで、お気づきのはず、私たちは「いずみホール&大阪チェンバーオーケストラ」での演奏会を体験しました。

つまり、2016年2月10日の「レクイエム」は、これまでのフェスやシンフォニーとは全く違う演奏会になるんです。(ちょっとワクワクしているワタシです!)

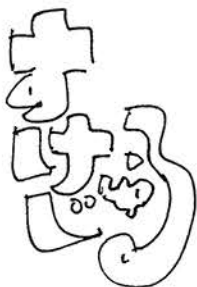
さあ、歌う仲間を集めよう!



特に男声!モーツァルト「レクイエム」を丁寧にうたいたい、という友達いませんか?

OBOGへも「今までとは全然違う世界だよ!」って誘いましょ!

Alto. しまじゅん



6/17(水)
18:30~

堀江PWT

(地下鉄
鶴見線「西七橋」
西七橋線「西七橋」)

6/24(木)
18:30~

クレオ大阪東

(JR「京橋」
地下鉄
「市バス210」)

6/28(日)
13:15~

クレオ大阪南

(地下鉄
谷町線
「きれりわり」)



出席者: 足立眞由美S、粟野S、岩井T、川端S、杉田T、辻井T、西野淳S、西野智S、前田B、空T、吉田いずA

1) 音楽会振り返り

① 団員数

	ソプラノ	アルト	テノール	バス	合計
前回からの継続数	30	38	10	14	92
募集締切時	34	44	12	12	102
最終ステージ人数	27	43	9	9	88
大阪音大助っ人			2	2	92



② チケットの販売実績と入場者数

◆ チケット代は、団内、S4500円、A4000円、(チラシ価格は、各500円増し)、団内最低ノルマS3枚

	S	A	合計
全座席数	705	116	821
団内	698	105	803
PG(いずみホール)	3	0	3
当日窓口	2	5	7
有料拡大数合計	703	110	813
団員からの寄付チケット	寄付17	寄付9	847
入場者数	641	92	733
うち招待者	7		7

→ 団員平均 / $803 \div 88 \approx 9.125$ 枚

→ Sは団内でも不足するくらい早くに売れたが、団員の寄付チケット(見込買いたがキャンセル等で空席の可能性のある「入金済みチケット」を寄付してもらった)ことで、団内希望や、当日窓口の対応ができた。

③ 打上パーティ・参加人数合計54人 ⇒ 有料: 46人 招待: 8人 (亀井先生・田中先生・坂口先生・清水先生・音大4名)
・総額: 212,000円 (収入184,000円、赤字28,000円 → 団会計より補てん)

④ 反省... 演奏会、練習、運営、モロモロ。当日出席者の意見 + 団員振り返りアンケートでの意見より。

● 演奏会(演奏) /

- ・ いずみホール & 大阪チェンバーオーケストラ & 現在のフロイデの規模などが、非常によいバランスだったと思う。
- ・ 「旧・フロイデ時代」とは一線を画した「あたらしい大阪フロイデの形」ができたと思う。これを、また、続けたい。第九や大ホール向きの曲もやりたい気持ちはあるが、今回の形をひとつのスタイルとして定着して行けたら、と思う。
- ・ オケも、ソリストも、すばらしかった。音大の助っ人に本当に助けられた。相乗効果で団員の声も良く出た。
- ・ いずみホールは、お客様も聴きやすかったようだ。ステージからお客様が近くて、気持ちもこもって、温かい感じがした。

● 演奏会当日のこと(演奏以外のモロモロ、マナーその他) /

- ・ チラシ挟み込み作業や、ロビー片付け作業など、スムーズだった。事前に具体的に担当者を決めておいたのがよかった。
- ・ 撮影大会勃発。楽屋内はまだしも、ステージでゲネ時に記念撮影している団員が居た。ロビーで撮影してホールの人に注意された者も居た。また、ゲネ時にオモテ手伝いのメンバーが撮影したりしていた。打上は、主催者である団が、ソリストなど共演者に感謝しておもてなしする場面。撮影が過ぎる!
- ・ 打上は場所が離れて時間の制約もあるので、どうかな、と思ったが、終了時間が決まっていたので却って密度高くてよかった。

満席の盛況おめでとうございます。

初めてのホールで本当にいい演奏会だったと思います。

レクイエムはともかく、戴冠は歌い出だしのKyrie(ピッチの幅が少し大きかったかも)のKyが最後部席まで綺麗に届き、他の合唱団では聞けない見事な発音だった。最初がそうだと最後まで好意的に聞こえるのが演奏会。

男声。視覚的にも少数過ぎるあのメンバーであれだけの声を出せば及第! 拍手です。トラ隠しも大成功。

次回あれを基礎にp~ffやクレッシェンドデクレッシェンドの表情がもっと出せれば一流、ブラヴォー拍手だと思います。

アルト、今回一番良かったと思う。春先の練習まではイマイチに聞こえたけど、本番はオバサンっぽい音に下げずしっかり支えてた印象。うるさく前にも出ることもなく本当に「アルト」を演じきり上手い! と感じましたよ。

ソプラノ。叫ばずピッチの揃って美しい、この響きにもう少し浸っていたいと感ずる場面も多い。

ただその人数でそれを継続するのがやはり難しいのか途中で萎えてしまう(サボる?)場面も、...

最後に楽譜。私は持つ人持たない人が混在してもいいと思ったけど、今回全員が持つ

しかも楽譜にかじりつかないサマは非常に良かった。狛犬の様に突立って歌われるより客の眼にも良かった気がする...

♪ 2月と団員に当日客席の聴いた感想を募集... ♪



● 練習面／

- ・ 譜読み時のつまづき(音取り&コトバが言えない)で、後半練習まで、テノール・男声に練習が費やされ、もったいなかった。女声も、歌える人がソレナリに居るからゴマカセたが、実は多くの団員が、音取りでつまづいていた。時間を割いて欲しかった。
- ・ テノール特別練(2回)では、田中先生がリズム読みを徹底的にやってくださった。自分でやっても合っているかわからない練習方法もわからないのが、田中先生の指導がとても役に立った。言葉が言えるようになった。惜しむらくは、テノール特別練は、先生が「見るに見かねて」になってから、だったので、もっと初期の譜読み時に複数回お願いできていれば、練習時のテノール足ひっぱり、もう少しマシになったと思う。
- ・ 2/11(祝)の田中先生の全体練習が非常にありがたかった。リズム読みを徹底的に、全員でやっていただけで、インテンポでの声の出し方やエネルギーの使い方など、具体的方法を指導してもらった。日常練習での指摘内容の実践のいとぐちがつかめたと思う。
もっと初期の譜読み段階で、たびたび、このような練習があると(団員側から見ると)練習効率がよかったように感じた。
- ・ 亀井先生は、全体の音楽を考えて譜読み段階から「こう歌え(発音とか、切る、とか強弱とか)」という指示や「これはダメ」という指摘をしてくださる。今回「譜読み」をすごく丁寧にやっていただき、注意点も細かく教えていただいた。ただ、その指示や指摘を実践する方法については個人個人で復習しなさい。ということになる(これは亀井先生は指揮者のお立場だし、当然。)
しかし神戸と異なり「楽譜を読める器用なメンバー」がグンと減ってしまった現状では、結局個人ではできなくて、(各自、個人で練習CDを聞いたり熱心なものの、聴いてなぞってやった気になるだけ、で、練習手法がわかっていない)結果的に、練習時に、何度も何度も譜読みの定着不足が繰り返し指摘されて時間がかかり、もったいない。
田中先生の合唱指導は、亀井先生の指示や指摘を、どうすれば実践できるか、具体的に一緒にやってくださることで、全体で、いろいろ試して、方法を団員に体験させた。亀井先生の指示&指摘を団員に定着させていただけの練習だった。
- ・ 男声助っ人は非常に助かった。やはり声の出る人が入ると団員も声が出る。ただ、やはり、自前でできるようにしたい、、、。
- ・ 次回も2曲だし、初期段階でこまめに定着させていかないと、また初期つまづきがあとあとまで尾を引くことになると思う。
- ・ アルテヤクレオなど、狭くて天井の低い練習会場では、ずっと下手に聴こえて辛かったが、大きな会場での練習のときに、うまく聴こえて!?よかった。
- ・ アルテクレオでの練習と大きな会場での練習では聴こえ方が違い、とまどった。団の財政的には、慣れて行く必要があると思うので、会場が違う場合の気持ちの対応方法など先生からアドバイスがあれば助かる。
- ・ 指揮集中のため「暗譜」していく練習を行い、本番で「オマモリ」として楽譜を「持つ」のは、よかったと思う。やはり、「歌詞を覚えて音も覚えてうたう」くらいしないと、アマチュアでは音楽にならないので、暗譜練習は良い。
- ・ 団員の練習態度が甘い。「自ら動く」練習になっていない。私語も多い(決まった人だが)時間になっても、スタンバイが遅い。遅刻者は気を遣うべし。スーパーの袋の音も迷惑。

● 運営面／

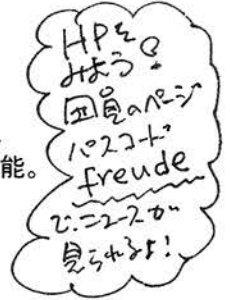
- ・ チケットノルマ(S3枚)の効果はあった。通常は、ギリギリまでゼロ枚の人がいたが、今回は、早めに全員がチケットを持つ状態となり、チケットを持てば「誰かを誘う」動きを全員がしたと思う。結果、ほぼ満席になり、よかった。
- ・ チラシまきが日程によっては「1人」のこともあった。現在の「チラシまきスケジュール」は、音楽会をできるだけ網羅して1人でも行ければよい、とする設定だが、「行ける人をきちんと複数確定してチラシまきをする」方針に変えるべき。チラシまきの「行ける人を募って、チラシまきをとりしきる」リーダーを、運営参加アンケートで募ってみることにする。
- ・ 運営委員が非常に人数が少ない。運営委員会に出て一緒に考えてくれる人が増えてほしいが、なかなか、、、練習会場での受付関係などは、運営委員以外で、担当をお願いしてやっていく、ことを、もっとすすめる必要あり。
- ・ 団員への声掛け(心細いひとへの声掛けや、お互いに名札をつけること、また、私語の注意等)も運営委に頼らずに。

● 収支面／

- ・ 演奏会会計はなんと黒字見込み。これは、当初の演奏会経費予想のうち、いずみホールとオーケストラが安かった。予想では、いずみホールを80で見ていたが実際には68、オケ90で見ていたが、80で済み、楽器レンタルも安価だった。プログラム印刷などの雑費を50で見ていたがモロモロ努力で40程度で押さえられた。そのため、今回は、奇跡的に黒になりそう!
ただし、オケは編成によって値段が変わる。モツレクではファゴットとピオラが加わるので、今回より高くなる。今後のことを考慮して、今回の「団内割引あり」でのチケット代設定でよいか、等、チケット販売時期に検討する。
- ・ チケットのランクは、今回のA席は、やはり、ステージサイドや一階最前列などは、音的にもバランスが悪かったよう。収支的に「全部Sにしては？」という意見もあるが、いずみホールからバランスが悪いと言われている席はAにすべき。
- ・ 日常収支は、やはり、110名でペイできる経費が、90名ではアウト。大幅赤の予想。根本的な検討要。ホール使用料の第1回納入日(8月アタマ)までには、方針を決められるようにしなければならない。

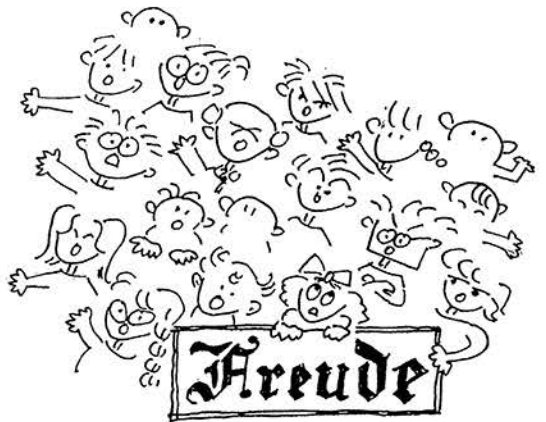
2) これからの取り組み

- 日程 2016年2月10日(金)いずみホール ・オケ合せ:2月8日(月)どっか区民ホール終日
- 曲目 モーツァルト「ミサ変口長調KV275」「レクイエム」
- 出演 大阪チェンバーオーケストラ、ソリスト:5/29のソリスト中心に由也先生からお声掛け。大学関係は多忙期。
- 団員数→継続/S21+A33+T8+B9=71…特に、男声がやばい!このバランスでは、ヒドイ。
新規申込者→女声5名、男声3名(3名ともバス希望)
- ・チラシを利用しよう!図書館など、公共の場で募集チラシを置いてくれる所に置きに行って!チラシまきは日を決めて実施。
- 練習会場→団を維持するには、クレオやアルテも使って行かないと難しい。現在、アルテ中心にいったん予約している。
- 販売物→楽譜/275ミサ1800円、レクイエム1600円 練習CD/ミサ500円、レクイエム500円
- おおまかな運営関係日程予定
 - 新人歓迎懇親会:8/2予定
 - 運営アンケート:日程:6/17~6/28 締切(まとめ:前田さん)→7/3の運営委員会で検討できるように
 - グループミーティングの開始:グループ名観作業に応じて開始日を決める。
 - グループ名鑑の発行:10/3&4の強化練習で発行として、準備着手日を山形さんに確認する。
- 健全収支にするために。
 - ・いずみホール使用料第1回支払いが8月アタマ。演奏会経費は、5/29の経験で、イケルかも、だが、日常経費の毎月連続赤蓄積から脱せなければ、団そのものが立ち行かなくなり、演奏会も開催不可能。その時点で「解散」も冗談ではなくなる。
 - ・事務経費はけっこう底値まで絞って来ている。こんごについては、先生ともご相談していく。
- 次回運営委員会 2015年7月3日(金)



というわけに
歌う仲間を集めよう!!

- ▶ これまじ「チラシまきスチールド」という
おし方で、誰かが行くか確認せよ
行く人〜この方金でして=PI. 今夏から
- ▶ 白黒に「行く人」も募り確認し、すめめめ?



- ▶ 6/12(金) 19:00 開演 ザ・シンフォニーホール 関西フィル定期 → シンフォニー・Tel 06-6453-1010
ブ람ス: ピアノ協奏曲第2番 (ピアノ: 横山幸雄)
ヴォーン・ウィリアムズ: 田園交響曲
- ▶ 6/13(土) 18:00 開演 いずみホール 大阪センチュリー合唱団定期 → いずみホール Tel 06-6955-2828
ロッシェニ: 小荘厳ミサ曲 より、ほか
- ▶ 6/19(金) 19:00 開演 ザ・シンフォニーホール 日本センチュリー定期
ムソルグスキー: 歌劇「ホヴァーンシチナ」より前奏曲「モスクワ川の夜明け」
ショスタコーヴィチ: ヴァイオリン協奏曲 第1番 イ短調 op.77
ムソルグスキー (ラヴェル編曲): 組曲「展覧会の絵」

上記はめばいとうみごすはひす。練習時に「行く人」を募集してもらい、
演奏時同様の確認や集合の約束も、そのようにして決まるといふこと。